

科目名	ソーシャルワーク論Ⅱ					単位	2.0
担当教員	平澤 恵美						
授業形態	講義	開講期間	後期	配当年次	1	授業番号	4113

●授業のテーマ

ソーシャルワーク実践における相談援助の方法について体系的に学ぶ

●到達目標

- ・ ソーシャルワーク実践の共通基盤を理解する。
- ・ ソーシャルワーク実践モデルとアプローチについて理解する。
- ・ ソーシャルワークの実践過程を理解する。

●学習内容(授業概要)

本講義では、人と環境の相互作用をとおして、ソーシャルワーク実践における対象者に対する理解を深める。また、相談援助の実践モデルとアプローチについて学び、現場でおこなわれる相談援助の概要を把握する。これらのモデルやアプローチが相談援助の過程に及ぼす影響について考えながら、ソーシャルワーク実践における相談援助の具体的な展開について学ぶ。

●学習内容(授業計画)

1. オリエンテーション ～ソーシャルワークの概念～
2. ソーシャルワークの構成要素
3. ソーシャルワーク実践における人と環境の相互作用
4. 相談援助の対象 ～概念と範囲～
5. 相談援助の実践モデルⅠ ～治療モデルから生活モデルへ～
6. 相談援助の実践モデルⅡ ～ストレングス・モデル～
7. ソーシャルワークにおける援助関係
8. バイステックの原則
9. ソーシャルワークと面接Ⅰ ～構造と環境～
10. ソーシャルワークと面接Ⅱ ～方法と留意点～
11. 相談援助の過程Ⅰ ～インテークとアセスメント～
12. 相談援助の過程Ⅱ ～プランニングとインターベンション～
13. 相談援助の過程Ⅲ ～モニタリングとターミネーション～
14. 相談援助者としての基本的態度
15. まとめ

●準備学習・事後学習の内容

授業内に提示するテキストの範囲を事前に学習しておくこと。講義で学んだ内容をノートとして整理し、まとめを作成すること。

●成績評価方法・基準

授業の参加状況20%、レポート40%、試験40%

●テキスト（必携）

社会福祉士シリーズ7『相談援助の理論と方法Ⅰ』弘文堂

●参考文献／その他

講義時に紹介

●履修上の注意

新聞・ニュースをはじめとして、日々の日常生活とも関連づけながら理解する努力をおこなってほしい。